

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	スポーツ鍼灸実技		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	後期	教室名	5階実技室
担 当 教 員	岡山 雄太	実務経験と その関連資格	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、はり師、きゅう師として野球やソフトボールのチームで帯同トレーナーとして活動中			
《授業科目における学習内容》						
・スポーツ鍼灸実技ではスポーツ分野と鍼灸施術をあわせて実習を行う。鍼灸師・スポーツトレーナーとして必要なスポーツ医学を基本とした傷害の予防、治療法、リコンディショニングを身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験(実技)100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉東洋療法学校協会 編 教科書執筆小委員会 著 :医道の日本社 教科書:ずっと使える!鍼灸臨床BOOK :株式会社 滋慶出版/つちや書店 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト						
《授業外における学習方法》						
普段からスポーツ・競技特性、スポーツ傷害・障害を意識しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション	教科書など	競技別の傷害・障害を考える	
		各コマにおける授業予定	今までに学習した内容の復習			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節に多いスポーツ傷害・障害①	教科書など	競技別の傷害・障害を考える	
		各コマにおける授業予定	評価・測定・応急処置			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節に多いスポーツ傷害・障害②	教科書など	競技別の傷害・障害を考える	
		各コマにおける授業予定	鍼灸治療			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩関節に多いスポーツ傷害・障害③	教科書など	競技別の傷害・障害を考える	
		各コマにおける授業予定	ストレッチ・フィジカル・テーピング			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘関節に多いスポーツ傷害・障害①	教科書など	競技別の傷害・障害を考える	
		各コマにおける授業予定	評価・測定・応急処置			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘関節に多いスポーツ傷害・障害②	教科書など	競技別の傷害・障害を考える
		各コマにおける授業予定	鍼灸治療		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘関節に多いスポーツ傷害・障害③	教科書など	競技別の傷害・障害を考える
		各コマにおける授業予定	ストレッチ・フィジカル・テーピング		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰に多いスポーツ傷害・障害①	教科書など	競技別の傷害・障害を考える
		各コマにおける授業予定	評価・測定・応急処置		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰に多いスポーツ傷害・障害②	教科書など	競技別の傷害・障害を考える
		各コマにおける授業予定	鍼灸治療		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰に多いスポーツ傷害・障害③	教科書など	競技別の傷害・障害を考える
		各コマにおける授業予定	ストレッチ・フィジカル・テーピング		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝関節に多いスポーツ傷害・障害①	教科書など	競技別の傷害・障害を考える
		各コマにおける授業予定	評価・測定・応急処置		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝関節に多いスポーツ傷害・障害②	教科書など	競技別の傷害・障害を考える
		各コマにおける授業予定	鍼灸治療		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝関節に多いスポーツ傷害・障害③	教科書など	競技別の傷害・障害を考える
		各コマにおける授業予定	ストレッチ・フィジカル・テーピング		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ傷害・障害を想定した実践	教科書など	競技別の傷害・障害を考える
		各コマにおける授業予定	実践		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	まとめ		
		各コマにおける授業予定	まとめ		